

・子どもに身近なのは、各学校にある図書室です。図書室の司書の方が、他の学校と兼務である状況は良くないと思います。小学校の図書室にマンガが多くて驚きます。国語力の低下が良く理解できません、活字に親しめるようにしていかないと文章を読んで、理解する、自ら書くことのできない人が増えるばかりです。

・図書館は勉強をする人が行くところ、読書をする人が行くところだと思っていました。だから全く関心がありませんでした。図書館にこんなにも多くの可能性があるのかと驚きました。別府に新しくできる図書館、とっても楽しみになりました。ワクワクがとまらないです！！素敵な図書館を作るのは大変だと思いますが、期待しています。がんばってください！！

・図書館は、今後も情報交流の場であってほしい。図書館という型にとらわれない交流の場であってほしい。

・本が目的で人が集まるだけでなく、色々な目的で人が集まり、その中で本が時として役に立て、自由な使い方ができる空間であってほしい。

・オープンプラットフォーム会議全体の時間を長く設定し、参加者を含めたディスカッションをさらに充実してほしい。

・自習スペース／飲食可(別のところ)

・別府の文化(温泉、竹細芸など)を用いたものを取り入れる。

・食事ができるカフェ

・小中学校の図書館と連携して欲しいです(学校教育、教育機関と社会教育課の連携)。

・司書の方が、働きやすい場にして欲しいです 書庫もかなり広くとって欲しいです。

・サードプレイス、本当にそうだなあと思いました。区別、差別されない場所「みんなにとっての居場所」という発言がありましたが、それですね、学校的なものとは違うかな。

・前回の会議よりも、具体的で参加者の意見を引き出してきて、とてもよかった。

・手塚さんのお話に心洗われる様でした。地元の後継者がいなくなっても、デザインや道具、技術をもって伝えていけるんだなあ。いろんな視点、思いを持って、別府市民の図書館を作ってください。

・素案ができてから、形だけのパブコメをするのではなく、計画策定段階から市民の声を十分に聞いて欲しい。図書館に関心のない市民を巻きこんで欲しい

・図書館についてはイメージが広がった。

・今後は、併設？する美術館や博物館？もテーマにこの会議を開催して欲しい。

・基本計画はそこで働く人(司書、学芸員、施設長)の配置を明確に示すべき。

・はずかしかったけど、自分のアイデアが読まれてよかった。

・たくさんありすぎて今すぐには書けないですが、市民の憩いの場、観光に来られる方も足をはこべるような別府らしい図書館になることを願います。

・郷土資料を大切にしてほしい。収集している郷土資料を軽視し、廃棄するといったことを絶対にないようにしてほしい。

・観光の町としても、福祉の町として皆が利用しやすい、デザインやサービスを提供できる図書館であってほしい、子どもから高齢者、障がいのある人にもやさしい場所であってほしい。

・手塚氏が実践されている、司書が町に出ていく、地域のこと、人、なりわい等を調べる活動は素晴らしいと思う。本だけでなく、専門的にやっている人材を知らせてもらいたい。

・温泉、観光を取り入れるが1番に揚げられています。市立図書館は、まず、市民のためのものであるべきだと思います。別府市民は、足湯につかって本を読もうとは思いません。温泉や観光の資料等は必要でしょうが、すべてに(第1回のオープンプラットフォームは残念でした。)観光客相手の考えは、図書館には、必要ないと思います。

・図書館ではなく、本が基礎にあって、そこから発展がいくらでも可能なのだと気づかされた。横でマルシェをする事にとっても関心を持った。地元にも貢献できるし、安心して食べることができると思う。視野が広がった。

- ・カフェなどがあるとよい。ゆっくり読める場所、イスなどがあるとよい。
- ・高齢者の居場所にもなり、これからの子育てにも資する施設であってほしい。
- ・市立図書館は直営でやってほしい。
- ・もう少し分かりやすいと、まだ、よかったです。
- ・学生が立ち寄りやすい場所
- ・美術館に関するオープンプラットフォーム会議も開催して欲しい。
- ・図書館を参考に考える市民中心の図書館づくり。企業に頼らない。指定管理反対です。
- ・運営は民間委託に(サービスは進化しなければならないので公務員にはムリだと思う)
- ・常に新しい情報、流行に応える情報に出会えることが魅力ある図書館に不可欠の要素だと思う。そんな図書館にするために十分な人とお金を投じてほしい。様々な年代、様々な立場の人がそれぞれ幸福感を感じ得る場所であつたら良いと思います。“べっぷの未来”“こどもの未来”を市民みんなで構築していければ！！
- ・蔵書に限らず、先では、図書館イベントばかりが目立ちました、図書館が情報発信の場であつてそれもいいでしょう。でも読書人はどうしてつくりませんか。
- ・本好きの人のためだけの一部の意志に寄り添う施設にはしてほしくない。ハコモノが負の遺産になりやすくなっているこの時代に、一から造るというのだから、多様性、柔軟性がある施設を求めます。たくさんのお金がかかるはず。別府市民の税金です。子どもも、大人も、高齢者も、等しく楽しめる場所にして下さい。
- ・図書館は静かに読書するイメージが多いが、今回までの図書館である落ち着いた環境も大切であろう！！館内の明るさも必要
- ・蔵書数をとにかく増やしてほしいです。今は、別府図書館にはなくても日出図書館にはあるという事が多々あります。聴覚障害者に対する配慮をお願いします。手話ができる司書がいるとよいですね。

・何をやるにしても“人”です。建物や施設といった箱も大事ですが、手塚氏の講演でもあったように“人＝司書”が大事です。現在、別府の司書は全員非常勤だと思います。まずは正規採用の司書をいれること、2年ごとに入れ替わる不安定な人事では、司書のサービスも振出しに戻ります。全員は無理でも、継続してサービスを提供できる、正規の司書の採用・人事について検討が必要だと思います。

・市民みんなができる限り納得する図書館になるといいなと思います。ここに書いてはダメと承知ですが、給食も同じようにこのような場の設定をお願いしたいです。

・昨年子どもが生まれ、図書館に行く機会が無くなりました。子どもを預けられる場所や、子どもと楽しめる仕組みがある図書館を望んでいます。

・別府市は多文化が交わる観光地です。市民だけでなく、観光客や、留学生(外国人)に情報発信する場があると良いです。

・大学の頃に別府の観光等で研究をした際に、観光協会や市役所、県庁に訪問し様々なことを学ばせてもらいました。また一方で、別府は、パチンコ屋の方がいいという意見があるということも聞き、がっかりした思いがありました。浜脇の再開発、赤銅御殿など無秩序な計画により文化的、観光的価値のものたくさん失いました、今回の図書館の計画がまちのきっかけとなるようなものになること期待したいです。

・たくさんの人のニーズに合う図書館を作ってほしい。

・今回は、美術館についても展開していただきたい。

・手塚さんの講演は創造性に富み図書館の可能性を考えられるワクワクしたものでした。聞くことができ楽しかったです。モデレーターの馬場正導さんが問題を的確につかみ、とてもわかりやすい進行でした。

・APUのように、空間を分けてほしいです。そして防音もしっかりしてほしいです。勉強する人のために、できれば個室がほしいです。

・100年後も利活用される公共空間を創って下さい。民営事業で運営をして下さい。

・明るく楽しい雰囲気図書館にしてください。

・別府市の新図書館がどういったものになるがとても楽しみであり興味がわいたので、若年層の意見も含め、反映させたものになればと思います。

・私は日田市ですが、別府市の取り組みに大変興味があります。ステキな図書館を作ってください、人が集う図書館楽しみにしています。マクティブな図書館、武雄図書館のような形でなく、伊万里図書館のような資料の充実した図書館、また利用者のニーズに合った場所があるといいなと思います。また、図書館に関わる人材がとても大切だと考えます。人材についても基本計画をすすめていく上で考えていただきたいです。

・教育委員会から企画部など市長部門へ管轄を変更する。

・多くの市民が、行ってみたい図書館を造って下さい。

・足湯をしながら本が読めるスペースがほしいです。

・前回の会議よりも、具体的で参加者の意見を引き出してきて、とてもよかった。

・1回目の反省が、市長の口からきけたのはよかった。やっとまともな議論が聞けた気がする。

・行きやすい場所につくってほしいです。

・市外の人、県外の人でも気軽に行けるようにしてほしいです。

・飲食や会話が可能なスペースが欲しい。中、小会議室を備え、グッズ販売をしてほしい。

・図書館のイメージが全く違った。本との関係だけとっていた、社会とのつながり、社会、人間をかえる、そんな図書館考えたこと、なかった。

・今日はとてもいいお話を聞くことができました、ありがとうございました。

いこいの場になってほしいです。時々博物館にもなってほしい。

司書さんのやる気、資質が大きく関わってくるので司書さんが大切、そのためにも雇用や身分の安定などあるといいなと思う。

・美術館の整備はどうなりますか？ここに入りますか？もしくは、別で検討されるのでしょうか。とにもかくにも、本当の意味でさまざまな人に開かれた、未来志向のすばらしい施設ができたらよいと思います。

・情報をオープンにし、市民と意見交換する場を積極的に設けてほしい。

・駐車場を是非広めに考えて頂きたいです、子ども3人を連れて行く為には必要です。図書館の静けさはキープして欲しいです。

・本を持って移動するとき、雨などで本が濡れないよう駐車場から入口まで屋根があるといい。

・図書館に備えてほしい本などの希望を書いて、入れられる箱とかかあったらいいと思う。(好きな本が図書館にあったら、来たくなるし、他の人にもおすすめして読んでもらえる。)

・そろそろ現実に移してもらいたい。今日の会議もそうですが、若い世代の参加者が少なすぎる→アンケートも偏りが出るのは？

・12月にAPUで多様な教育紹介「エデュコレ」という企画が行われます。オープンプラットフォームでやるという教育の企画とリンクできたりはしないものでしょうか。

・紫波町図書館という良き前例があるので「図書館」という「枠」とらわれない「情報スペース」を作ってほしい。

・夢のある、利用しやすい図書館にしてください。

・今回の手塚さんのお話はとてもよかったです。話がわかりやすく引き込まれました。ディスカッションの進め方もすばらしかったです。

・別府市の図書館が、そこに住む人にとっても訪れる人にとっても図書館で未来や希望をイメージできるような施設になればと思います。

・ファッション本コーナー(別府はファッションをとり入れる場所が少ない)と飛び出す本のコーナー(借りられないことが多い。珍しいので、たくさんの方が読む。読書ノートの無料配布に

・足湯ができる図書館があったらおもしろい。別府の伝統を大切にしつつ、流行や新しい情報が得られるようなワクワクする図書館にしてほしい。外国人が多いので、子どもたちが語学を学べるようなコミュニティーをつくってほしい。

・技術は進歩したり時間とともに変化もするが、心はそう簡単に変わるか？子どもの成長は速くはならない。

・別府らしさや別府市の課題を発信する拠点として、多くの利用目的や用途を備えた施設になると良いと思います。

・アクセスの良さが利用者増につながり、人が来る場所、集まる場の重要な点だと思うので、近鉄跡地がベストと思います。そうでない場合、市内巡回や駅とのシャトルバスの充実を期待します。市民を多く集める会議では、フロアからの発言をとる時間だけでも1時間はとって下さい。

・予定地の周囲には文化、スポーツ施設が集まっている。今の図書館のように駐車場が限られたりイベントが重なったりすると互いに困ることがありそう。

・紫波町図書館のようなまちに対して積極的な司書の方がいることに感心した、図書館は読みたい本を借りたり自習するところ、という感覚しかなかったので、紫波町の企画展示などのように、実情を調べて、まさに開いてくれる場は欲しいと思った。まちの人はそれほど自分のまちに興味がなかったりするの、デザインコントロールされた場所から発行される情報はフォローしたくなる。自分のまちを知るキッカケになると思った。

・最後はコミュニケーションか、と思った。是非紫波町の図書館に行ってみたいし、自分だったらどんな風に場所を工夫していけるかプラスに考えられるきっかけをもらった。

・引き続き、公開してください。

・勉強が楽しくなる。いろんなこと、文化や社会を知ることができる図書館になってほしい。

・市外(車で30分)の者なので、意見は尊重されずとも、時代や別府のニーズに合う図書館ですと私自身通う価値もあります。大変楽しみです。

・計画策定までのプロセスがとても面白く、興味深く拝見しています。私自分が所属する会社がどのように(今回に限定せず)役割を見出していけるか、解決していければと思います。ありがとうございました。

・オガールプロジェクトは、通常の公共図書館では少し難しいのではと考えましたが、別府の図書館がそのような働きができるのなら良いなと思いました。また働いてみたいと思える図書館だと思いました。別府市民が参加して図書館を考えていくという事はとても良いことだと思います。

- ・作家の先生を呼んでお話しをしてほしい。建物の設計者は？
- ・手塚さんに別府に単身赴任して、劣化しない図書館の風土を創ってもらおう。
- ・エレベーターなどユニバーサルデザインを。
- ・カフェがあったりお店があったり、よみきかせのイベントや、作り物などがあって楽しい図書館にしてもらいたい。サイン会などもあってほしい。
- ・職員の質をあげる！これにつきます。天下り団体にならないように願います。
- ・市直営？指定管理？熟考をお願いします。
- ・新しい図書館に期待しています！！いい図書館には、いい人材が必要だと思います。
- ・あまり奇抜な図書館や催しを売りにすることはしないでほしい(一過性、話題性)。基本的な設計、選局をまずは核においてほしい。(木材で居心地よい広場を作るなど例)・利用者が使いやすい読書手帳など
- ・市民のための良い図書館ができると良いですね。
- ・地域との連結、コミュニケーションを活かし、創造を生む。醸成されていく環境づくりを目指して欲しい。図書館が情報の発信地であり解決への道しるべであって欲しい。
- ・市のまちづくり、施設設備に関わる問題で図書館と給食にかなり共通点があると思う。ぜひ一緒に進めてもらいたい。仮に給食調理場がセンター一元化するとして、図書館が食育についてかなりフォロー可能だと思う。